

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関

- 区役所
・会館
・会館
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・放送局
●元住吉西口(プレーン通り/井田中ノ町商店街通り)
・音楽教室
・ワインバー
・カラオケスナック
・花屋
・鉄板焼
・ヘアサロン
・カフェ
・果物
・パン
・コーヒー専門
・イタリア料理
・音楽教室
・音楽教室
・コインランドリー
・理容室
・接骨院
・ヘアサロン
・デザイン制作
・カフェ
・時計・貴金属

●元住吉東口(オス商店街通り)

- 介護センター
・お茶
・鍼灸院
・介護センター
・古本・CD
・整骨院
・調剤薬局
・飲み喰い処
・イタリア料理
・STEAK
・不動産
・旅する珈琲屋
・Gステーション
●元住吉近郊
・喫茶室
●武蔵小杉近郊
・紅茶専門店・喫茶室
・蕎麦店
・珈琲店
・喫茶店
・喫茶店
●東横線沿線
・調剤薬局
・写真
・レストラン&バー
・調剤薬局
・カフェレストラン
・ジャズ喫茶

- 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎プレーン通り郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
(改築中)川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイスTel.044-712-1791
●元住吉西口(プレーン通り/井田中ノ町商店街通り)
SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992
24 Wine&Coffee Stand 中原区今井南町37-13-101 Tel.044-573-3437
ROCOO 中原区今井南町37-13-102 Tel.044-733-7777
Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
MUI (旧もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
オステリア ポッカーノ 中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003
島倉学ミュージックスクール 中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5490
ヤマハ日吉センター 中原区木月4-31-7 Tel.044-411-5701
マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュTel.0120-027-217
Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273
井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413
フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963
金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
和式整体&整心の「響氣」 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
ツグイ 中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027
凸と凹と 中原区木月2-10-3
オズ整骨院 中原区木月2-11-12 Tel.044-740-9100
綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
自在屋 中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644
ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
福街不動産 中原区木月祇園町12-1 Tel.044-750-0409
cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499
Tea House ローズマリー 中原区小杉町3-70-4 ホーユパレス1F Tel.044-733-1076
そば あさひや 中原区小杉御殿町2-42-7 Tel.044-722-1768
Cafe TEMO(テモ) 中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234
Coffee Spot Life(ライフ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
ショップ カフェハット 中原区新城1-16-12 Tel.044-788-0116
駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
Public House びあにしも 川崎区小川町16-15ヒロサワビル103号Tel. 044-201-1668
オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
カンファーマ・ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200
マシュマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

※上記サポーター記載は無料です。

M MAGAZINE 発行人 塚田親 スタッフ 松本泰夫 発行音楽好きな友の会 〒211-0025 中原区木月1-35-1アートフラッツビル103号 TEL 044-201-1668 2019.9.16-800 PrintingRk

M MAGAZINE

2019 10月号 October

Friends who like the music of Motosumiyoshi

第17回 ふれあいアフタヌーンコンサート 10月5日(日)13:30~ 川崎市国際交流センター チムニーズ/近藤幸江

音友レコード倶楽部 10月6日(日)13:30~ 元住吉駅側「音友ハウス」 Light Musc 軽音楽ファンの集い

ランチタイム ロビーコンサート 櫻岡史子/バンフルート 10月17日(日)12:10~ 川崎市生涯学習プラザロビー

音友レコード倶楽部 10月20日(日)13:30~ 元住吉駅側「音友ハウス」 JAZZ ジャズファンの集い

魅惑の音楽紀行 ユキ・アリマサ・カルテット JAZZライブ 10月26日(土)15:00~ 川崎市国際交流センター

Masaaki Saigo

表紙:西郷正昭(ピアニスト・作詞作曲家・八百屋オーナー)20歳から独学でピアノを始め初期のキャンディーズや...

Photo: Yoshiro Yasuda

連載01 音楽の旅は続く ジャズボーカリスト 星乃けい 吉田拓郎、泉谷しげる、古井戸、ケメ...キヤー! こんには、ジャズボーカリストの星乃けいです。「ジャズはあんまり興味ないんだよね」と思ったあなた!ちょっと待って!そんなあなたにこそ、私の音楽の旅物語を読んで欲しいな。というのも、私はここ15年程ジャズをやっていますが音楽の出発はジャズではなく、シンガーソングライターだからです。この度ご縁があり記事を書くことになりましたが、いただいたテーマは、出発地点からここまでの音楽の旅。そのスタートは遠い昔のことになります。もう少して50年!半世紀です!まだ生まれてなかった方も、ぜひ昭和の音楽の世界にお付き合いくださいませ。 という事でスタートしますが私の幼少時代はあまり面白いので、1974年5月「第7回ヤマハポピュラーソングコンテスト(通称:ポブコン)」にエントリーした時代から始めましょう。 このポブコンはヤマハ音楽振興会が年に2回開催するコンテストで、年に1度は全国大会があるアマチュアシンガーソングライターの登竜門でした。中島みゆきさんを始め数多くのアーティストを輩出したことで有名ですね。またこのコンテストをきっかけに作詞家、作曲家、アレンジャー、スタジオワーク、プロデューサー等に転身してきた数多くの音楽業界を牽引してきた方々も数多くいます。今では考えられない程の影響を持ったコンテストでした。 そんな時代、私の暮らす福岡県は当時フォークソングのメッカといわれていました。博多では海援隊、チューリップが台頭し井上陽水さんも出てきました。当時、中学生だった私はひよんなことから入院をしたのですが、その病院の息子さんから「杉田二郎さん(戦争を知らない子供達、超名曲!)と友達です」と聞かされました。「ああ、フォークソングねえ」と今一つの私。なぜならその頃の私には、ひと世代前の反戦歌や社会へのメッセージソングを理解できなかったからです。でもなぜか気になって人気が上昇中のアーティストのコンサートに行きたのです。吉田拓郎、泉谷しげる、古井戸、ケメ...キヤー!面白い〜!とすっかりハマりました。彼らの音楽にハマったというより「自由に歌を作って、好きに唄って良いんだ!」ということにハマり、自分の中に無限の自由があって、それを発信しても良いことを初めて知りました。 子供のころから詩を書くのが趣味だったので、1万円を握りしめ(当時の私には大金!)早速に近所

川崎市国際交流センター 川崎市国際交流協会設立30周年、川崎市国際交流センター開設25周年記念 多文化交流ステージ 日時:10月12日(土)12:00~16:30/入場無料(販売・体験は有料)・参加自由 外国人によるパフォーマンスや世界のお弁当、お茶やお菓子のほか、水引工芸などの日本文化体験コーナーを企画中です。 魅惑の音楽紀行/川崎市-ボルチモア市姉妹都市提携40周年記念 ユキ・アリマサ・カルテットJAZZライブ 日時:10月26日(土)14:30開場/15:00開演 入場:無料/定員:200名(要申込、応募多数の場合は抽せん) 申込方法:HP申込フォーム、往復はがき 洗足音楽大学ジャズコースの講師陣による演奏をぜひお楽しみください。 川崎市生涯学習プラザ 1階ロビー 第81回 ランチタイム・ロビーコンサート どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート 日時:10月17日(木) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定 料金:無料 [出演] 櫻岡史子/バンフルート (ピアノ伴奏: 佃 恵井子) [プロフィール] 櫻岡史子(さくらおかふみこ) 8歳からバンフルートを始める。本場ルーマニアにてバンフルート奏法・教授法を学ぶ。Radu Nechifor(ラドゥ・ネキフォル)氏に師事。日本・ルーマニアバンフルート協会会長。江東区音楽家協会会員。東京音楽大学附属民族音楽研究所バンフルート講座講師。よみうりカルチャー 荻窪講師。

元住吉最大の音楽祭 2020 2nd Motosumiyoshi Music Fest. Venue: Kawasaki International Center Hall 第2回元住吉ミュージック・フェスティバル 川崎市国際交流センターホール 参加ミュージシャン募集 サポーター・スタッフ募集 ジャズ/クラシック/ポップス... アコースティックな音楽であれば参加できます。 https://mottonclub.com/ 共催 元住吉ミュージック・フェスティバル実行委員会 MMT

島倉 学ミュージックスクール 開講8周年記念 ヴォーカルコース発表会 第10回 Dream Live 2019 開催決定! 2019年11月30日(土) 開場 14:00 開演 14:30 入場無料 会場 川崎市国際交流センターホール 出演 ヴォーカルコース在校生/島倉学 【プログラム】 第1部 Vocal Live 第2部 Musical & Classic Concert 第3部 島倉学 Solo Concert 2019 ~歌革命~ 主宰:島倉学 主催:島倉学ミュージックスクール 後援:島倉学事務所 TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-musicschool.com HP: http://www.ms-musicschool.com/

「音友会」の活動拠点は「音友ハウス」です。 元住吉駅 西口徒歩1分、フルッコショップ「フルッコ」2F 中原区木月1-35-1 フルッコビル2F ●レコード倶楽部、コンサートの問い合わせ ※「非通知設定」には対応不可。 ontomo.jp 検索 090-9398-2889 (担当:塚田) 音楽好きな友の会 http://ontomo.jp/

# 連載37 私とジャズ

## You don't know what love is

このところエッセイ風の文体に少し興味を持ちまして(一つの話長を長く書くのを覚えているこの頃ですが…)今も変わらずエッセイ風でお送りします。

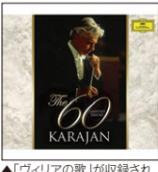
「最近」久しぶりに映画館に行きました。それがなんと「ワンピース」というアニメ映画です。見ていて思い出した事がありました。それは私が中学生の時にこのアニメ映画(当時はマンガ誌でした。)の中にサックスを吹いている人物が登場し、なんと楽器を武器に戦っているシーンがあるのです。サックスを武器?と思われる方が大勢いるかと思うのですが、なんとサックスのベルを砲筒にみたてて砲丸を飛び出させるという何とも荒っぽい攻撃表現の仕方です。しかしながら私はそのシーンに非常に感銘を受けて(影響を受ける方向が間違っている(笑))自分もサックスのベルにベトナムを入れて吹き飛ばそうとしたら間が悪いことに顧問の先生に見つかったことづくめで叱られた、なんてことが



ありました。最近YouTubeでサックスのベルに工事のコーンを入れて演奏しているグループを見付け自分のアイデアは悪くなかったんじゃないか?と考えている今日この頃です(笑)。

# 松波陽介

「蜜の光」と言えばデパートなどで閉店のBGMで使われていることが多いです。この曲の原題は「別れのワルツ」で歌詞は旧友と再会して酒を飲み交わすという内容ですが、日本では別れ=閉店の良いイメージでBGMにしているのだとか。最近クラシックの音楽を聴いてまさに閉店の音楽にぴったりじゃないか、という曲を見つけたのです。その名もタイトルは「喜劇・メロウ・ワイドウ」から「ヴィリアの歌」という曲です。この曲はぜひ皆さんに聴いて頂きたいのです。イメージは「夕暮れ時に今日1日を振り返り明日はどんな1日になるのだろうか」と考えながら家路につくような感じです。曲の雰囲気は非常にバッチリかと思いましたが、歌詞が全く雰囲気と違いました(笑)。歌



▲「ヴィリアの歌」が収録されているアルバム

▲「武田の子守唄」赤い鳥

▲「夏の終わりに」山直太郎

詞の概要は、森に入った狩人が森の妖精「ヴィリア」に一目惚れをして自分の恋人になってくださいと懇願するけれど「ヴィリア」は二度と現れなかったという内容でした。そうすね、全く曲の雰囲気と歌詞が合致していないですね。けれども二度と会えなかった、という所に目を向けたらまあ別れの歌?としては成立するのかな、とも思いますが。「竹田の子守唄」という曲を初めて耳にしました(いや、もしかしたら聴いたことあったけれど忘れていたのかも)。何だか今にはない、独特の感じの曲だなあと感じて聴いてみたのですがこれは冬の曲ですね。(笑)そして途中でバイオリンの音かな、と思う旋律がありました。映像を見たら何と人の声でした。いやや人間の声でこんな表現ができるのだと。山直太郎「夏の終わりに」という曲でも同じような旋律があったなと思いついて急いで映像を確認したら、やはりこちらも歌声でした。こちらは夏の曲です(笑)

# 連載36 4ビートに首ったけ 長谷部 徹

## モノクロームの世界 観る側の感性が問われます。



▲「あの歌、2つの心」COLD WAR

まだフィルムカメラが全盛だった頃、よく写真を撮っていました。ドイツ製のカーン・ツァイスと言うレンズが気に入って、いろいろな焦点距離のレンズを集めたものです。京セラが作っていたコンタックスと言うブランドのボディを使っていましたが、オートフォーカス機能がなかったので、手動でピントを合わせていました。古き良き時代のカメラですね。白黒写真撮るのが好きで、無機質な都会の早朝や港の古臭い倉庫群や親しい人物を白黒フィルムで撮ると雰囲気がある写真が撮れました。低感度のきめが細かいフィルムを使うと、限りなく美しいグレーのグラデーションが表現でき、高感度の粒子が粗いフィルムを使うとザラザラとした、ライブ感のある報道写真のような一瞬が切り取れました。モノクロって不思議ですね。カラーより情報量は少ないはずなのに、むしろ饒舌だったり印象的だったりします。街の乾いた寂寥感とか、

古い物が持つ堆積した時間の厚みとか、その人が隠している控えめな優しさとか、思いのほかクッキリと浮かび上がる時がある。どうしてなのかな? 多分、モノクロの世界って、色が無い分、観る人の想像力を働かせる余地が残っているからなのではないでしょうか。言い方を変えれば、観る側の感性や想像力によって、魅力的な写真にも平凡な写真にもなってしまうかもしれない。ちょっと試されているみたいで面白いですよ。

さて、前置きが長くなってしまいましたが、先日ポーランドの白黒映画を観てきました。その映画とは『COLD WAR-あの歌、2つの心』(写真①)です。1950年代の冷戦下、ポーランド、バリ、ユーゴスラビアなどを舞台に東側と西側で揺れ動き、時代に翻弄された男女のそれは悲しい物語なのですが、とにかくモノクロ映像が美しい。88分の映画なのですが、どの一瞬を切り取ってもそこには物語が隠れていて、素敵なポスターになりそうです。そうそう、アカデミー賞で撮影賞など3部門ノミネートされました。このコラムで紹介していると言うことは、そうすね、音楽が良いんです。特に印象的に使われているのはポーランドに古くから伝わる民族音楽の歌で「Daw Serduska(2つの心)」と言う歌です。3回使われているのですが、1回目は田舎の貧民層の少女が夢を掴む為に声を張り上げて歌います。そのどこか諦観したような瞳が切ない。2回目はゴージャスなステージで民族衣装を着たコーラス隊が華やかに歌います。ハーモニーが美しく、この曲の本来の姿でしょう。そして最後はパリの

クラブで主人公の女がジャズバージョンを歌います。伴奏のピアノはやはり主人公の男。二人が一番幸せだった瞬間でしょう。歌い終わった時の目配り、多分、モノクロの世界って、色が無い分、観る人の想像力を働かせる余地が残っているからなのではないでしょうか。言い方を変えれば、観る側の感性や想像力によって、魅力的な写真にも平凡な写真にもなってしまうかもしれない。ちょっと試されているみたいで面白いですよ。

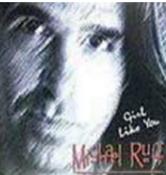
# 音友レコード倶楽部Report 2019年8月音友会の報告



## 敏腕!! 音楽ディレクターのマイケル・ラフ。

梅雨が明けたとしたら、熱中日和のまさに夏真っ盛りの今日この頃です。DJタイムはAOR(アダルト・オリエンテッド・ロック)第3弾としてマイケル・ラフのアルバム「Girl Like You」(写真①)全曲を聴きました。このマイケル・ラフは過去にチャカ・カーンやリッキー・リー・ジョーンズなどのツアーでキーボード兼音楽ディレクターとして活躍していた人です。このアルバムは彼の一番のお気に入り曲で何度も再演されているしとりしたバラード「熱い思い」(More Than You'll Ever Know)、ヒュー・ルイス&ザ・ニュースに提供したロックンロール風の「ザッツ・ソット・ミー」など多種多様なサウンドがブレンドされ、日本でこの様な素晴らしい作品が制

作された事は称賛に値します。ボーカルはあくまでソフトに、そしてそれぞれの楽曲のバックビートに合わせ、キーボードプレイは今までの音楽経験で培われた絶妙なスパイスを効かせた演奏をしています。現在はハワイ在住でアメリカ本土と行き来しながら、忙しい音楽活動をしている様子です。持ち寄りタイムでは常連の方々も新旧いろいろなジャンルのLP、CDから幅広い選曲で楽しい時間を過ごしました。大ベテランの女性歌手ディオニス・ワーウィックの「Friends」(写真②)よりスティーヴィー・ワンダー、エルトン・ジョン、グラディス・ナイトとのデュエットを実現した「愛のハーモニー」(That's What Friends Are For)、今年9月に来日公演があるイタリアのトランペット奏者、ファブリッ



▲①Girl Like You/ Michael Ruff



▲②Friends/ Dionne Warwick



▲③Duke/ Fabrizio Bossi



▲④Let It Bleed/ The Rolling Stones



▲⑤Dancing Alone Together/ Ray Anthony

## 10月の「軽音楽」ファンの集い 10月6日(日) 13:30~ 音友ハウス

ステューヴン・ビショップ AOR第4弾はステューヴン・ビショップです。「ケアレス」に続くセンチメンタルアルバムでアート・ガーファンクルやチャカ・カーンなどがゲスト参加した邦題「水色の手帳」を全曲聴いていきます。

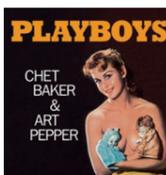
## ウエストコースト・ジャズの名盤を堪能。

ジャズ・レコードの名門レーベルである「パシフィック・ジャズ」(1952年創業)の紹介からDJタイムが始まりました。1950年代半ばはロサンゼルスを中心とする西海岸一帯で演奏されたジャズスタイルがニューヨークで演奏されていたジャズスタイルから主導権を奪い取ったかのような時期がありました。この両者の違いをアンサンブル重視のウエストコーストに対しアドリブの濃いイーストコーストと評した方がいますが筆者も同感です。でも仲が悪いわけではなく東西のメンバーが融合した「Grand Encounter: 2° East - 3° West/John Lewis」(写真①)は、パシフィック・ジャズの永久不滅盤と思っています。パド・ジャンクやビル・パーキンス、リッチー・カミュカなどウエストコーストの名手も登場しましたが、何と言っても超大物は

チェット・ベーカーとアート・ベッカーでしょう。2019年に生誕90周年を迎えるチェット・ベッカーですが、共に麻薬に侵され続けたアート・ベッカーとの共演「Playboys/Chet Baker and Art Pepper」(写真②)は絶頂期を迎えつつあるアート・ベッカーの演奏が聴けました。開始前からウエストコーストに関する会話が飛び交っていましたが、参加された方は真摯に聴き入っておられました。持ち寄りタイムもウエストコースト・ジャズ関連が多くありました。ウエストコーストのプレイヤーが一堂に介しハリウッドで録音しブルーノートで発売した「Best From The West Vol.1」(写真③)は演奏者を記さずアドリブを聴いて当ててみましょうというシリーズでした。先述のビル・パーキンス、リッチー・カミュカに加え、ズート・シムズやスタン・ゲッツを育てたウディ・ハーマン楽団のアルバム「Woody Herman's Greatest Hits」(写真④)から名曲「フォー・ブラザーズ」も聴けました。もう一つのウエストレーベル「コンテンポラリー・レコード」は、1945年に創業したデキシードランド・ジャズ専門レーベルの「グッド・タイム・ジャズ」からの傍系だったことも知りました。そのほかアコーディオンのジャズ、ジブシー・ギターと面白い持ち寄りもありましたが、マーガレット・ホイテイングの「Margaret Whiting Sings Rodgers and Hart」4枚組(写真⑤)はSP盤ならではの音色で魅力的な歌声を味わえました。SP盤をお持ちの方は良い音響で楽しめますので是非お持ち寄りください。(K.Tanagawa 記)



▲①Grand Encounter: 2 Degrees East - 3 Degrees West/John Lewis



▲②Playboys/ Chet Baker and Art Pepper



▲③The Best From The West Volume 1



▲④Woody Herman's Greatest Hits/Woody Herman



▲⑤Margaret Whiting Sings Rodgers and Hart/Margaret Whiting

## 10月の「ジャズ」ファンの集い 10月20日(日) 13:30~ 音友ハウス

クインシー・ジョーンズの世界(スタンダード編) アレンジャーとしてまたトランペット奏者として活躍したクインシー・ジョーンズ率いるビッグ・バンドの曲をピックアップして聴いていきます。

# 連載37 「くじら座」日記

## 牧野 ぐみ

### DTM始めました

私はパソコンが壊滅的に苦手です。避けられるものなら一生避けて通りたい。そんな私が最近DTM(デスクトップミュージック)を始めました。DTMというのは、ざっくり言うとパソコン上で作曲や録音を行うことです。人は、わからないものや正体の見えぬものに対して、必要以上に不安を感じるのだと思う。例えば乗っている電車が止まってしまった時。「30分の遅延」をアナウンスされるよりも、「発車時刻は未定」と言われる方が遥かに不安やイライラが募る。結果として10分後に出発したとしても。今までDTMを避けていた理由はこれ。パソコンがわからないので、DTMもわからないものだという認識。わからないのは不安につながる。不安の対象から人はどんどん遠ざかる。

そんな状態の対象に向き合うためには、皆さんそれぞれ克服法はあるかと思いますが、私の場合はまず勢い。そして後に引けない状況を作るという作戦です。一斉に機材を購入し、SNSで「DTMやります」という宣言。そして身近なバンドメンバーには「DTMで作った音源送ります」という宣言。ここまで言ってやらなかったら、機材を購入したお金がもったいない、ファンの方からもバンドメンバーからも信頼を失うだろう。信頼を失うことはお金を失う以上に大きなリスクだから、否が応でも立ち向かうしかない。そして、意外にも楽しいことがわかりました。ドラムやギターなど、自分が



扱えない楽器の音を入れることができる!どれくらい楽しいかという、今までできなかったことができるようになるのは、音楽だけではなくスポーツでも勉強でもどんなジャンルでも、人類にとって普遍的な喜びと達成感であり人生の充実だなどと、急に哲学語り出しちゃうくらい楽しいです。DTM、まあ一言で表すとしたら「もつと早くやればよかった。」

MOTTON CLUB logo and QR code with text: 地域の、全国のミュージシャンそして音楽活動に関わるあらゆる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、楽曲の発信を積極的に活動していくことが目的。元住吉から発信して行きます。登録メンバー募集中!! https://mottonclub.com/

## Course Addicted to Guitar-17 アドリブネタ(ブルース)

### 永瀬 晋

お世話になっております。今月もまたギターを始めたばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。今回もセッションネタの続きをご紹介します。前回までは伴奏多めで紹介していましたが、今回はアドリブフレーズのコツをご紹介します。やはり最初の登門門としてお勧めな「ブルース」でございます。「ブルース」の特徴、歴史背景等はここでは触れませんが(是非ネットなどで調べていただけたらと思います)今回は手っ取り早くそれっぽい感じを出すフレーズのご紹介。

早速以下譜例ですが、ここで使われているのはマイナーペンタトニックスケール(ブルーノートスケール)と呼ばれる、アドリブで比較的最初に覚えるスケールです。コード進行はブルース進行という形式なのですが、弾いているフレーズはすべて同じです。(バックのコードだけが変わっています)このような感じであまり動き回らずと

もカッコいい感じは出せるんですよ。是非友達同士でセッションしてみてください! というわけでまた次回!



Souleave Music School logo and text: ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分・武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel. 044-750-8992 AM8:00/PM22:00start